

避難の心得

1 避難経路はあらかじめ確認



日頃から家族や地域の人たちと話し合い、避難経路などをあらかじめ決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

2 持ち出し品の準備



非常時の持ち出し品はあらかじめ準備しておき、避難の際にすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

3 警報・注意報



揺れを感じなくても津波警報や注意報が発令された場合は、すぐに避難を始めましょう。

4 河川に近づかない



津波は河川をさかのぼり、内陸まで浸入することがあります。河川には絶対に近づかないようにしましょう。

5 高台への避難



強い揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ高台などの安全な場所へ避難しましょう。

6 協力しあって避難



お年寄りや子供、避難に手助けが必要な方には協力して避難しましょう。

7 高い建物への避難



逃げ切れないときは頑丈な建物（鉄筋コンクリート造り3階建て以上のビル）へ避難しましょう。

8 避難の継続



津波は何度もやってきます。最初の津波が過ぎ去った後から、より大きな津波がくることがあります。しばらくは避難を継続しましょう。

避難行動と避難情報

地震発生から避難まで

地震発生時の対応

- ・倒れてくるものなどから自分の身を守る。
- ・火の始末をする。
- ・出口を確保し、避難経路の安全を確認する。

津波からの避難

- ・あらかじめ決めてある避難場所または近くの高台、高い建物へ避難する。

情報の入手

- ・安全な場所で、ラジオや携帯電話、防災行政無線などから情報を入手する。

自宅周辺の安全確認

- ・入手した情報や津波警報の解除などから津波の危険が去ったことを確認した後、自宅周辺の安全を確認する。

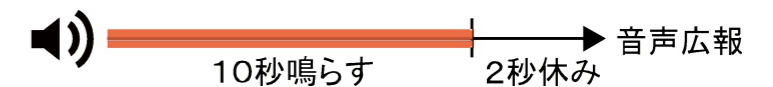
サイレンの鳴り方



津波注意報

高いところで0.5m程度の津波が予想されるときに発表されます。

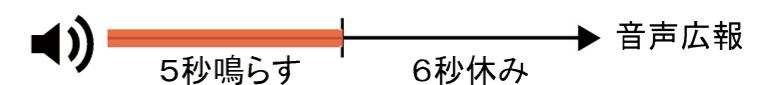
10秒鳴らして2秒休止を3回繰り返す



津波警報

高いところで2m程度の津波が予想されるときに発表されます。

5秒鳴らして6秒休止を3回繰り返す



大津波警報

高いところで3m程度の津波が予想されるときに発表されます。

3秒鳴らして2秒休止を3回繰り返す

